

公立大学法人福井県立大学 中期目標（第四期）

基本目標

福井県立大学は、1992年の開学以来、「新しい時代にふさわしい魅力ある大学」、「特色ある教育・研究を行う個性ある大学」、「地域社会と連携した開かれた大学」の3つの基本理念を掲げ、高度で専門的な知識・技術を有する優秀な人材の養成や先進的な学術研究の地域社会への還元などにより、福井県の産業と文化の発展および福祉の向上に貢献してきた。

現在、福井県は、北陸新幹線の福井・敦賀開業により、100年に一度のチャンスを迎えており、この好機に、交流人口の拡大や県民のチャレンジの応援などにより活力人口100万人の実現を目指している。

その中で、福井県立大学においては、県内各地に設置するキャンパスや特色ある学部を最大限活かし、「持続可能な福井を支える大学」として地域や県民の期待に応える大学づくりを行う。

この基本目標において、特に以下について重点的に取り組む。

- ・社会全体の急速な変化に対応し、実社会で活躍する人材を育成する。
- ・開学以来の研究成果を基に、イノベーション創出に繋がる研究力を強化する。
- ・県内大学や自治体、県内機関との連携の中心的役割を担い、地域貢献の取組みを推進する。

第一 中期目標の期間

中期目標の期間は、2025年4月1日から2031年3月31日までの6年間とする。

第二 教育に関する目標

一 教育の内容に関する目標

- 1 福井に根差した教育をさらに高度化するため学部・研究科の新設・再編を行う。
- 2 6学部6キャンパスを有する総合大学としての特色を活かし、社会のニーズ等を踏まえた教育および学生の可能性を広げる多様で特色ある教育を実施する。

二 教育実施体制の強化に関する目標

県内他大学との連携をさらに深め、一般教育の共通化の検討など、学生の学びの選択肢を広げるとともに大学の機能強化を図る。

三 国際交流に関する目標

学生の海外派遣や外国人留学生の受入れ体制を強化するとともに、実践的な英語力を身に付ける多様な機会を提供し、実社会で活躍するグローバル人材を育成する。

四 学生の受入れに関する目標

多様な学生を確保するための入試制度の改革を実施する。また、学生に選ばれる大学となるために、特色があり、魅力的な学びの内容を積極的に発信する。

五 学生への支援に関する目標

- 1 県内企業の魅力に触れる機会を増やすとともに、卒業生との連携を図るなど、学生の県内定着に向けた取組みを促進する。
- 2 全ての学生が意欲を持って学修に取り組めるよう、良好な環境を整備する。

第三 研究に関する目標

一 研究水準および研究の成果等に関する目標

- 1 県内各地に設置する6学部6キャンパスの特色を活かし、地域課題を解決する研究プロジェクトを推進する。
- 2 国内外の他大学や自治体、企業と連携した共同研究を推進し、研究成果を地域社会に還元する。

二 研究実施体制の強化に関する目標

学内全体で研究支援体制を強化し、研究力を向上させるための環境を整備する。

第四 地域貢献に関する目標

一 社会人の学び直しに関する目標

社会のニーズに対応したリスキリング・リカレント教育を積極的に推進するため、「生涯学び続けられる場所」として社会人が利用しやすい体制・環境を整備する。

二 地域との共創に関する目標

県内各地の各キャンパスや学部等を拠点に、地域社会の課題を自治体や県内企業と連携を密にして解決する学生参加型の取組みを推進する。

第五 業務運営の改善および効率化に関する目標

一 体制の改善に関する目標

地域連携や研究支援、国際化などの分野において専門的人材を配置するなど、教育・研究支援体制を強化する。

二 人事の活性化に関する目標

- 1 教育研究能力の向上や地域貢献推進のため、優れた教員の採用・育成を行う。
- 2 教員評価制度について、継続的に検証し改善を行う。

三 DXに関する目標

DX（デジタル・トランスフォーメーション）の導入により、教育の質の向上、業務運営の効率化・高度化を図る。

四 情報発信に関する目標

教育、研究、地域貢献や業務運営に関する情報を公開・発信し、大学のブランド力向上につなげる。

第六 財務内容の改善に関する目標

一 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標

学生納付金や施設利用料等を必要に応じて見直すとともに、国等の競争的資金や共同研究費などの獲得を強化し、自己収入の増加を図る。

二 経費の効率的執行に関する目標

効率的な予算の執行、業務運営の合理化・簡素化により経費を削減する。

第七 自己点検・評価および当該状況に係る情報の提供に関する目標

中期計画の達成状況について、大学内部の自己点検評価を行うとともに、第三者評価（福井県立大学評価委員会の法人評価、認証評価機関の大学評価）の結果を法人運営に反映させる。また、これらの結果を速やかに公表する。

第八 その他業務運営に関する重要目標

一 施設・設備の整備および活用等に関する目標

老朽化した施設等について計画的に更新を行い、災害時に学生が安全安心で学べる環境を確保するとともに、ダイバーシティ社会や環境に配慮した取組みを推進する。

二 安全衛生管理に関する目標

- 1 防災や安全衛生管理のための体制整備など、学生および教職員等の安全を確保する。
- 2 各種法令の遵守および情報セキュリティ対策により、コンプライアンスの徹底を図る。